

漁海況月報

令和4年1月1日

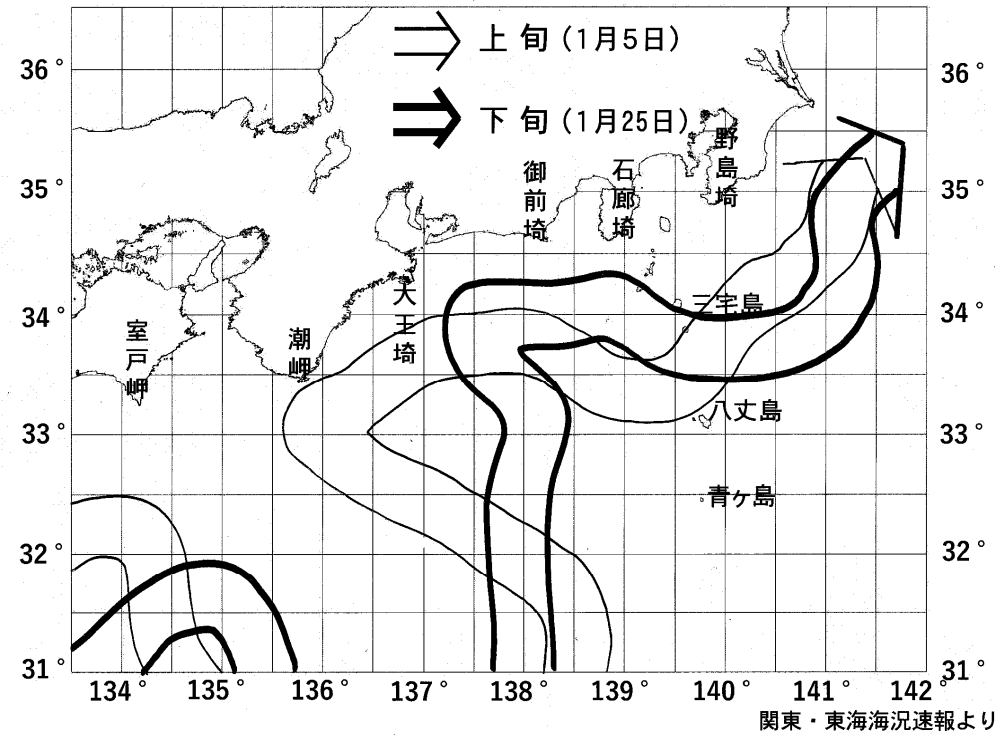
No. 1 ~1月31日

静岡県水産・海洋技術研究所

(電話 054-627-1815)

静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場

(電話 0558-22-0835)



1月定地水温の旬平均値(°C) (下段は平年偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	14.1	15.1	14.7	15.7	15.0	14.8
	-1.3	-1.1	-1.0	0.1	-0.4	-0.5
中旬	13.3	14.4	13.8	14.1	14.3	13.9
	-1.5	-1.2	-1.5	-1.1	-0.6	-1.0
下旬	13.8	14.6	14.9	15.9	15.6	14.8
	-0.5	-0.5	0.1	1.2	1.4	0.3
月	13.7	14.7	14.4	15.2	15.0	14.5
	-1.1	-0.9	-0.8	0.1	0.2	-0.3

*地頭方の水温観測は終了しました。

*2022年平年値(1990-2021年の31年平均値)

【黒潮流路】

潮岬を大きく離岸した後に上~中旬はS字状、下旬は直線状に熊野灘~遠州灘沖を北上する流路となった。

上旬は潮岬を大きく離岸し、熊野灘沖30°N付近まで南下した後に、遠州灘沖までS字状に北上する流路となり、北上の屈曲部が潮岬に接近した。また、熊野灘、遠州灘、駿河湾、大島東西水道に向

けて暖水波及が見られた。

中旬は潮岬を大きく離岸し、熊野灘沖29.5°N付近まで南下した後に、遠州灘沖までS字状に北上する流路となり、北上の屈曲部が潮岬に接近した。また、熊野灘、遠州灘、駿河湾、大島東西水道に向けて暖水波及が見られた。

下旬は潮岬を大きく離岸し、大王崎沖で29°N付近まで南下した後に、遠州灘沖を直線状に北上する流路となり、北上部が潮岬、熊野灘から離岸した。また、熊野灘、遠州灘、駿河湾、大島東西水道に向けて暖水波及が見られた。

【県下沿岸域】

上旬は伊東、稲取、下田、焼津で「やや低め」、雲見、沼津で「平年並」であった。中旬は伊東、下田で「低め」、稲取、雲見、沼津、焼津で「やや低め」であった。下旬は伊東、稲取で「やや低め」、下田、焼津で「平年並」、雲見、沼津で「やや高め」であった。

【竿釣りカツオ】

1月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げはなかった(前年同月の水揚げなし)。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
R4年1月上旬	0	0	—	—
中旬	0	0	—	—
下旬	0	0	—	—
R4年1月計	0	0	—	—
R3年1月計	0	0	—	—
R2年1月計	0	0	—	—

【定量網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は1,494トンで、前年(49.0トン)の30.5倍、平年(228.0トン)の6.6倍であった。また、1か統あたりの水揚量は213.4トン(前年:7.0トン、平年:32.6トン)であった。水揚量の多い漁場は、古網漁場(367.9トン、マイワシ、さば類、マルソウダ)、次いで川奈漁場(301.1トン、さば類、マイワシ、オアカムロ)であった。

多獲された魚種の水揚量は次頁(表)の通りで、マイワシは776.3トンで、前年比223.4倍、平年比19.6倍であり、1月の水揚量としては昭和57年以降、最も多かった。さば類は626.7トンで、前年比42.4倍、平年比10.6倍であり、1月の水揚量としては昭和57年以降、最も多かった。水揚げされたさば類のうち、マサバは239.4トンで、前年比62.0倍、平年比49.4倍であり、1月の水揚量としては昭和57年以降、最も多かった。ゴマサバは387.2トンで、前年比35.5倍、平年比9.1倍であった。オアカムロは17.2トンで、前年比256.5倍、平年比12.4倍であった。マルソウダは16.6トンで、前年比6.2倍、平年比6.5倍であった。スルメイカは7.3トンで、前年比3.6倍、平年比14%であった。その他の魚種については、ヒラソウダ、フグ類が、1月の水揚量としては昭和57年以降、最も多かった。

多獲された魚種の主な漁場は、以下（表）の通りで、各漁場の水揚量の割合は、マイワシでは古網漁場が37%（287.0トン）、伊豆山漁場が23%（180.5トン）、北川漁場が16%（120.4トン）、さば類では川奈漁場が30%（185.8トン）、富戸漁場が20%（122.9トン）、伊豆山漁場が18%（113.2トン）、北川漁場が15%（95.3トン）、オアカムロでは北川漁場が46%（7.9トン）、川奈漁場が33%（5.6トン）、マルソウダでは古網漁場が32%（5.2トン）、北川漁場が25%（4.2トン）、谷津漁場が18%（3.1トン）、富戸漁場が17%（2.9トン）、スルメイカでは谷津漁場が43%（3.1トン）、北川漁場が28%（2.0トン）、富戸漁場が19%（1.4トン）を占めた。 * 平年：昭和57年～令和3年の平均値

(表) 多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
マイワシ	776.3	223.40	19.58	古網、伊豆山、北川
さば類	626.7	42.44	10.58	川奈、富戸、伊豆山、北川
オアカムロ	17.2	256.51	12.36	北川、川奈
マルソウダ	16.6	6.21	6.45	古網、北川、谷津、富戸
スルメイカ	7.3	3.58	0.14	谷津、北川、富戸

[サバたもすくい]

小川港所属の棒受網漁船は月を通じてたもすくい漁業主体で操業し、漁場は千波に形成された。水揚量はマサバ90トン（前年同月比4,494倍）、ゴマサバ379トン（前年同月比2.5倍）であり、1隻あたり水揚量はマサバ3.6トン（前年同月比1,798倍）、ゴマサバ15.2トン（前年同月比1.0倍）であった。

1kgあたり平均単価は、マサバは126円で前月（127円）並で、前年同月（203円）を大きく下回った。ゴマサバは114円で、前月（124円）を下回り、前年同月（114円）と等しかった。

水揚物の体長組成は、マサバは33cm、ゴマサバは34cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類（たもすくい網漁業）水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R4年 1月上旬	0	59	3	4	0	14.8	108	133	千波
中旬	0	129	4	7	0	18.4	129	109	千波
下旬	90	191	7	14	6.4	13.7	126	106	千波、利島
R4年 1月 計	90	379	14	25	3.6	15.2	126	114	千波、利島
R3年 1月 計	0	150	7	10	0	15.0	203	114	大島南部
R2年 1月 計	324	176	9	23	14.1	7.7	156	121	利島、三本

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

*表中の「-」は水揚げがなかったこと、「0」は水揚げがごく僅かであったことを示す。

[シラス船曳網]

県内主要6港における1か統当りの水揚量は、駿河湾（静岡、吉田）が98kg/統、遠州灘（御前崎、福田、舞阪、新居）が202kg/統であった。主要6港全体では131kg/統と前年同月（112kg/統）の1.6

倍、前年同月（過去5か年平均：241kg/統）の46.5%であった。また、水揚量は26.7トンで前年同月（20.8トン）の1.3倍、前年同月（45.0トン）の59.4%と、前年を上回り、平年を下回った。平均単価は803円/kgと、前年同月（1,185円/kg）の81.9%、前年同月（1,133円/kg）の70.9%と、前年、平年をともに下回った。今期のシラス漁は1月14日で終漁した。

シラス水揚量（主要6港）

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延統数	1か統当たり水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新 居	0.4	1	4	102	308
舞 阪	2.6	1	20	131	551
福 田	2.6	1	22	120	730
御前崎	7.4	2	19	392	643
吉 田	8.0	3	78	102	736
静 岡	5.7	4	61	93	1,292
R4年1月計	26.7	12	204	131	803
R3年1月計	20.8	9	186	112	1,185
R2年1月計	9.9	10	142	69	1,447

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年同期：過去5か年(平成28～令和2年)平均値

*1そう曳きの場合は1隻で1か統、2そう曳きの場合は2隻もしくは運搬船を含んだ3隻で1か統とする。

[まき網(いわし類)]

マイワシの水揚量は、伊東港では37.9トン（前年同月比96.2%、前年同月比64.0%）、沼津港では794.2トン（前年水揚なし、前年同月比10.3倍）、小川港576.6トン（前年水揚なし、前年同月比44.3倍）、静岡では水揚げがなかった。カタクチイワシは、伊東港、静岡港、沼津港、小川港では水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは776.3トン、カタクチイワシは0.004トンであった。 * 平年：過去5か年(平成29～令和3年)平均値

[調査船駿河丸の動向]

1月 5日 ~	1月 6日	地先定線観測調査	(2日間)
1月 11日 ~	1月 11日	いわし類卵稚仔分布調査	(1日間)
1月 20日 ~	1月 20日	新船駿河丸を三保造船所から回航	(1日間)
1月 24日 ~	1月 24日	習熟航海	(1日間)
1月 26日 ~	1月 26日	習熟航海（三保造船所へ）	(1日間)
1月 28日 ~	1月 28日	三保造船所から小川港へ回航	(1日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

